

個別事業(取組)評価				
事業No.	42	施策の柱への位置付け	柱⑥ 体力づくり	
事業名称	地域スポーツ人材の活用実践支援事業		担当課	スポーツ健康教育課
			当初予算額(千円)	10,557
			補正後予算額(千円)	5,821
			決算額(千円)	5,099

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 高知県の児童生徒は、運動が得意と答える割合が全国平均より低い状況にある。 ※ H21年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ・「運動が得意」と答えた割合 小5男子 45.6% (全国 47.4%) 中2男子 27.7% (全国 28.1%)	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 最新のデータにおいても、改善の傾向は見られるものの依然として全国平均値より低い状況にあることが確認できた。 ※ H22年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 「運動が得意」と答えた割合 小5男子 40.8% (全国 46.0%) 中2男子 26.6% (全国 29.1%)
		【要因】 ◆ 小学校の高学年の運動領域や中学校における武道など、指導者の専門性が十分でない。 ◆ 専門でない教員が運動部の顧問を持つケースが多くある。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 小学校においては、体育を専門とする教員が少なく、指導内容が高度になる高学年の授業に不安を感じている割合が高いことが学校訪問や研修会の中で課題として挙げられている。また、中学校の武道についても、それぞれの競技ごとに専門性が高く、必修化に向けて不安を感じていることが武道研修会等の中で課題として挙げられている。
②	目標(Outcome)	◆ 体育・体育的活動を充実させるために、専門性の高い外部指導者を派遣する。 【目標数値】 児童生徒アンケート調査 活動意欲の向上、技能の向上 80%以上	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 体育・体育的活動の質の向上を目指し、その効果を図るために、児童生徒の意識向上を目標として設定した。
		【検証(比較)方法】 ◆ 実施アンケート調査	エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 児童生徒の活動意欲の向上、技能の向上が図られた。 ※地域スポーツ人材活用実践支援事業児童生徒アンケート ・やる気がでた(意欲の向上) 小学校 22.6% 中学校 27% ・うまくなった(上手になった) 小学校 58.1% 中学校 41% (挨拶やマナーが身に付いた 中学校41%) ※地域スポーツ人材活用実践支援事業担任・顧問アンケート ・意欲の向上 小学校 15% 中学校 27% ・技能向上(競技力の向上) 小学校 24% 中学校 33% (専門的な指導により授業が活性化 小学校61% 中学校33%)
③	実施内容(Input・Output)	◆ 体育授業派遣(20校) ◆ 中学校運動部活動派遣(57部) ◆ 地域スポーツ人材促進委員会 年間3回(9月、12月、2月) ◆ 実施校への指導主事の派遣	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 体育・保健体育授業への派遣 ・小学校 29校 中学校 7校 ・中学校運動部活動への派遣 43部 ◆ 地域スポーツ人材促進委員会開催 ①平成22年10月19日 ②平成23年1月17日 ③平成23年 2月25日 ◆ 実践校への指導主事の派遣 3回(後免野田小、久礼田小、上分小)

総合評価と今後の方向	目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 ◆ 外部指導者の活用については、今後一層希望が多くなることが予想される。そのため、外部指導者の効果的な活用方法について参考となる事例を収集することが必要となるため、下記の事項を検討している。 ・実施に当たっては、実施校がそれぞれテーマを設定し、その成果を検証できるように申請書及び報告書の形式を修正する。 ・効果的な活用方法について、リーフレットやHPを通して県内に広げていく。
	【総合評価】 体育やスポーツについては、専門性が高い特性があり、体育・体育的活動の推進においては、外部指導者との連携が有効な手段の一つである。実際に授業が活性化され、意欲や技能の向上が図られている。また、本事業への申請数も多く、学校現場のニーズが高い事業の一つとなっている。次年度は、質の向上を図るための取組を進めていくことが必要となる。	